

ハトムギ全国組織発足 JA氷見市など、HP開設・商談会に参加

2011年07月21日 02:01

国産ハトムギの認知度向上や販売促進を目指す全国組織が20日発足した。JA氷見市が中心となって設立し、名称を「はとまききれい倶楽部」に決定。「国産ハトムギ(飲・食・健・美)プロジェクト」と銘打ち、8月から3年計画でハトムギの普及活動を展開する。この日は都内でハトムギ産地のJA職員らが会合を開き、商品開発やホームページ(HP)の開設など今後の活動を決めた。

昨年からの組織設立に向け、JA氷見市が準備会役員となって進めてきた。会員はJA関係者や生産者団体をはじめ、食品・化粧品・医薬品を扱う民間企業などハトムギの利用促進や消費拡大に協力する団体。年会費10万円で会員数50団体以上を目指して、今後募集を開始する。

この日は東京・大手町のJAビルで、JA氷見市やJAいなば、食品会社など関係者が集まって会合を開き、活動計画などについて意見交換。3年計画のうち前半は認知度向上を重視して年内にHPを開設し、産地商品などを紹介することを決定した。学者らの効能を研究した論文などを有料で閲覧できるようにする。来年8月には「ハトムギウイーク」を設け、各地で料理コンテストなどを開催。都内で物産展を開くほか、全国の食品業者などが集まる商談会にも参加する。新たな商品開発にも乗り出す。

会長に鳥取県薬農協同組合の森下哲也代表理事を選任。JA氷見市の川上修組合長が顧問を務め、JAいなばが北陸ブロック代表の幹事に就いた。森下会長は「生産者やJAだけでなく、多くの人にハトムギに興味を持ってもらうよう活動したい」とあいさつした。